

■米国：連邦裁判所、イリノイ州原子力支援の措置は違法ではないと裁定

イリノイ北部地区連邦裁判所は 2017 年 7 月 14 日、州とエクセロン社の主張を認め、「ゼロ排出証書（ZEC）による原子力発電所への支援は結果として他の電源の負担で賄われるこことになり不公平である」と訴えたダイナジー社、NRG 社、カルパイン社を含めた電力供給者協会からの提訴を却下した。却下の理由として同裁判所は、ゼロ排出証書のプログラムはイリノイ州の所轄権限で、連邦が監督する電力卸市場と充分に分離されており、連邦の動力法（Federal Power Act）で州のプログラムを無効にさせることはできないとした。原告側は判決を不服として 7 月 17 日、シカゴ第 7 連邦巡回裁判所に上告した。なお、同様な訴訟がニューヨーク州のゼロ排出証書（ZEC）でも係争中であるが、現時点ではまだ判決は出ていない。